

asobi基地キャンプ・春 | 日光 持ち物リスト

持ち物	チェック	説明
着替え		<p>やや標高が高く内陸ですので、東京・神奈川・千葉等よりも気温が低めです。4月末～5月上旬の日中の最高気温は20℃に届くかどうか。晴れば過ごしやすいと思います。</p> <p>最低気温は、朝晩を中心に10℃を少し下回ることもありそうです。直前の天気予報も確認してください。</p> <p>汚れてもよい服を準備してください（絵の具遊びや泥遊びも始まるかもしれませんよ！？）。トイレに行きにくくなる子もいます。不安がある場合は下着も多めに持参してください。</p> <p>帰宅用の服は別にしておき、解散後に着替えるのがおすすめです（間違っても朝に着替えないでくださいね😅）。</p>
パジャマ		<p>家で着るようなパジャマではなく、スウェットやジャージ等のほうが、汚れても気にならず、保温性も高く、使い勝手が良いでしょう（行動着で寝ても何も問題はありません）。寒いときには、フリースやダウンジャケットを着て寝袋に入ります。</p>
就寝時の防寒アイテム		<p>夜間・明け方に冷え込み、寒いかもしれません。寝袋を持参する方は対応温度を確認してください（asobi基地レンタル品は5℃対応。ただし5℃まで寒くないわけではなく、体質・基礎代謝に大きく左右されます）。</p> <p>万が一に備えて、アウトドア用ブランケットや、サバイバルブランケット（エマージェンシーシート）を用意すると安心です。</p> <p>参考：寒くて眠れない！？春・初夏・秋キャンプの防寒対策 徹底解説</p>
防寒着		<p>風が吹くと体感温度がグッと下がりますので、防風性能の高いウインドブレーカー等があると便利です。また、朝晩は10℃以下になる可能性がありますので、厚手の防寒着を必ず持参してください。</p>
レインウェア		<p>晴れ予報でも必ず持参してください。片手がふさがってしまうと、活動に支障をきたす場面が多いため、キャンプでは傘のみはNGです。防水透湿素材の上下があると、子どもたちは、雨をモノともせず元気に遊び回ります。</p> <p>参考：レインウェアの選び方 雨の親子キャンプが劇的に楽しくなる！（ビニールの雨ガッパはNG）</p>
濡れてもいい服装		<p>川遊び用です。川は一部を除き水深がほとんどないため、小さい子でも遊びやすいでしょう。</p>
水遊び用の靴		
遊び道具		<p>6000㎡の広大なフィールドが貸切です。ボール遊びやフリスビーなど、自由に遊べます。</p>

バスタオル／お風呂用品ほかアメニティ		キャンプ場にシャワー、車で20～30分圏に温泉施設があります。
サウナに入る支度		<p>気になる方は、身体の線が見えにくいラッシュガードなどを用意するのがおすすめです。タオルがあると、サウナ内で座るときに敷いたり、汗を拭いたりできます。最後はシャワーを浴びてフィニッシュ。</p> <p>※なかなかこれだけのクオリティのサウナはないので、あまり興味がない方も、準備だけはしておいてくださいね</p> <p>※子どももしっかり楽しめます！</p>
お泊りグッズ		洗顔、歯磨きほか、任意のアメニティグッズ類
食器セット		①カトラリー（はし、スプーン、フォーク等）②コップ ③カレー皿 ④汁物用お椀があれば、大抵の状況に対応できます。メラミン、ホーロー、プラスチックなど、割れにくいもの。
ハンギングドライネット		必須ではありませんが、洗った食器の乾燥／保管場所として便利です。Amazon等で千円台から購入できますので、入手してしまってもよいでしょう。例： https://amzn.to/3EKOGke
ネックライト		<p>夜間にトイレに行く際や、テント内での明かりです（真っ暗になります）。スマートフォンのLED照明でも代用できますが、片手がふさがると不便なケースが多いため、気軽に首から下げておける、ネックライトがおすすめです。</p> <p>例：https://amzn.to/30Eqzav</p>
モバイルバッテリー		スマートフォン等の充電用。室内に電源はありますが、人数が多いので、思うように使えないかもしれません。
保険証、常備薬		運営では擦り傷、切り傷、火傷用の湿潤治療の処置材のみ用意しています。それ以外は、通常の家族旅行同様に、各自で準備をお願いします。
テント		※持参する場合
寝具		<p>寝袋の選び方はこちら：パパ＆ママのための寝袋・スリーピングバッグ・シュラフの選び方 完全ガイド</p> <p>寝心地をよくするマットについて：キャンプ用マットの5つの選択肢&選び方 ※古民家泊でも畳または床板での就寝になるため、マット類がある方が良いです</p>
自宅で使用している枕/キャンプ用の携帯枕		<p>必須ではありませんが、特に子どもは、枕が変わると、うまく寝付けないケースがあります。車参加の場合、自宅で使っている枕を持ち込むと、安眠できる可能性を高くできます。</p> <p>また、レンタルのキャンプ用具に、枕は含まれません。Amazon等で、キャンプ用の携帯枕を購入するのもおすすめです。</p>
チェア、テーブル（可能な方のみ）		車参加で、焚き火にぴったりのアウトドア用のチェアやテーブルを所持している方は、ぜひ持ってきてください。※イス・テーブル不足の可能性あります

【荷物の事前配送について】

往復宅急便を利用すれば、荷物の受取／現地からの発送に対応してくれます。

キャンプ場スタッフは常駐しているわけではないため、**荷物を配送する場合は必ず事前に連絡**し、荷物が到着する日時の擦り合わせを行ってください。遅くとも1週間前までには連絡してください。

[TERA RESOLA NIKKO | 問い合わせ先 \(LINE\)、住所](#)